

平成 18 年 11 月 29 日

全国のボーイスカウト指導者・保護者の皆様へ

財団法人ボーイスカウト日本連盟
教育本部コミッショナー 伊藤 智 是

「いじめ」に関する緊急メッセージ

「いじめ」を原因に、子どもたちが自らの命を絶つという痛ましい事件が発生しています。いかなる理由によっても、人が自らの命を絶つ事態はあってはならないことであります。とりわけ、それが子どもたちであるということは、保護者の皆様はもとより、青少年の健全育成に取り組んでいる私たちスカウト関係者にとっても耐え難いことであります。

弱者・幼いものをいたわり、すべての命を大切にす心の教育を行ってきたスカウト運動においては、このようなことはあり得ないと確信するところですが、今、実際に社会で起きているこの事態を私たちは決して見過ごすことはできません。関係者の皆様に「いじめ」をなくし、自殺を防止することについて周囲の人と話し合い、行動することをお願いする次第です。

ボーイスカウト教育には、子どもたちが成長していく過程で、多くの人との交流があり、また、子どもたちで物事を決め、それをみんなで守り、協力しあう機会が多くあります。そして、これらの機会を通じて、よりよい人間関係を築く力を育むことができます。

「いじめ」は人間関係のマイナス面です。

スカウトたちが、「いじめ」に屈せず、それに備え、乗り越えていく力を得ていくことを信じます。

スカウトたちを見守る指導者の皆様、また、スカウトの保護者、関係者の皆様、スカウトたちが困難に力強く立ち向かっていけるように後押ししていただくことをお願いします。

「いじめ」の問題は、学校だけの問題ではなく、また、家庭だけの問題でもありません。これは子どもたちを取り巻く、私たち大人や社会全体の問題です。こういった問題に直面することがあった場合は、速やかに保護者、学校、地域社会の関係者が連携を図る必要があります。

さまざまな場面でスカウトたちと一緒に「いじめ」のことを考えてみる機会を持つことも大切です。「いのち」の重さを、そして「いじめ」に負けない、よりよい人間関係を作る方法を一緒にお考えください。

スカウト活動の特徴の一つは、異年齢による活動であり、学校とは違う人間関係をスカウト同士で築いています。班長などの役務につくスカウトたちともよく話し合い、班長自身のことはもちろん、後輩スカウトたちへの支援についても一緒に考える機会などをお持ちください。

このようなときこそ、スカウトとともに「ちかい」と「おきて」の精神を実践し、その真価を発揮しようではありませんか。

保護者の皆様におかれましても、スカウト指導者と、また保護者同士との情報交換を密に行うなどにより、「いじめ」を防止することにご協力をいただくようお願い申し上げます。

平成 18 年 11 月 29 日

スカウトのみなさんへ

ざいだんほうじん 財団法人ボーイスカウト日本連盟
きょういくほんぶ 教育本部 コミッショナー 伊藤 智 是

ざんねん 残念なことに、いま、みなさんと同じ年頃の人たちに「いじめ」が原因で、自殺
をする人、また、そのことを考えている人がいます。

人は生きていくうえで、たくさんの人たちに出会い、いろいろな経験をします。
そこには、楽しいことがたくさんあります。でも、時には悲しいことや
つらいこともあります。これはきみたちだけでなく、すべての人に共通する
ことです。

ですから、おぼえておいてください。

人間には、一人で解決できないことがあります。特に、人と人との関係の問題
は、きみやきみの仲間だけで解決できるものとは限りません。でも、そんな時、
助けてくれる人は必ずいます。つらいときには誰かに話をしてみてください。
学校の先生や家族に話せなければ、スカウトの先輩や隊長に相談してくだ
さい。

おぼえておいてください。

きみが手を差し伸べれば、助けてあげられる人がいます。友だち、後輩の
スカウトたち、きみの回りに困っている人がいませんか。まず、声をかけて
あげてください。話を聞いてあげてください。そして、そのことを近くに
おとなに相談してください。

おぼえておいてください。

人に相談すること、声をかけてあげることは、ちょっとの勇気があればできる
ことを。それは恥ずかしいことではありません。きみたちの「いのち」は、
とっても大切なものだからです。

おぼえておいて欲しいことは、すべてスカウトのちかとおきて(やくそくと
さだめ)の中にあります。どうぞ、このことを忘れずにいてください。